



第43号  
2018年1月発行

発行元  
医療法人吉備会  
中谷外科病院  
患者サービス向上委員会  
委員長 中谷紳

〒706-0001  
玉野市田井 3-1-20  
TEL 0863-31-2323  
FAX 0863-31-8486

ホームページ  
<http://www.nakatani-hosp.jp>  
Eメール  
[Goiken@nakatani-hosp.jp](mailto:Goiken@nakatani-hosp.jp)

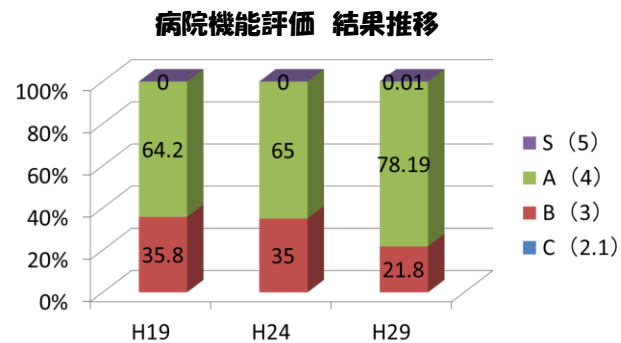
外来診療時間  
月～金 9:00 ～ 12:00  
15:30 ～ 18:30  
土 9:00 ～ 12:00

#### <中谷外科病院 基本方針>

- I :常に患者様の立場に立ち、行動する。
- I :消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- I :多職種間によるチーム医療の充実をはかる。
- I :在宅復帰を支援し、地域に開かれた医療を行う。
- I :職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。

### 平成30年を迎えて

あけましておめでとうございます。  
昨年当院であった2つのビッグニュースは、4月の電子カルテ導入と10月の病院機能評価受審です。  
電子カルテは予想以上に病院に効率化をもたらしました。まだプログラムが発達途上であり、職員のアイデアを結集してより使いやすい電子カルテに育てていきたいと思っております。  
10年前に日本医療機能評価機構から施設認定されて以来、受審は今回で3回目でした。今回初めて最高評価であるS判定を栄養分野に頂戴し大変嬉しく思っています。また下図のように過去10年間をふり返ると、高評価の割合が確実に増加しており、当院の医療内容が改善傾向にあるのがわかります。



平成30年1月からオリンピックイヤーの12月まで、当院は日本大腸肛門病学会より継続して施設認定されました。今年の診療部の指針は「診療内容の向上と適正化」です。今年も肛門手術や大腸内視鏡を益々積極的に行って参りますので、引き続き叱咤激励のほどよろしくお願いいたします。本年が皆様方にとり幸多き1年となりますように。

平成30年1月吉日

中谷外科病院 院長 中谷 紳

#### 病院機能評価を受診して

H29.10.17～18に病院機能評価を受審致しました。3回目になると職員も自らが主体性を持って取り組み、準備は比較的スムーズに進みました。1日目のケアプロセス調査では症例を振り返るなかで、他職種との関わりを具体的に知ることができました。2日目の全体講評では、職員1人ずつ1分間スピーチを行いました。短い時間でしたがそれぞれがどんな意気込みで仕事をしているのかを発表し、泣き、笑い、当院ならではのチームワークの良さを感じ、大変有意義な時間となりました。

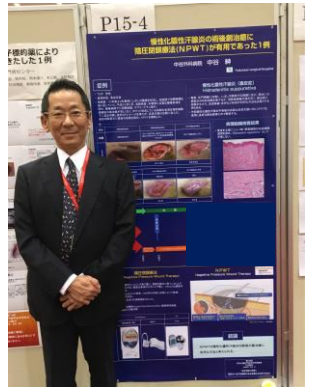
機能評価機構からの最終報告は2月になりますが、中間報告では概ね良好な結果を頂きました。機能評価は当院の理念である「患者様とともに歩む」を具現化するために、自らの現状を知り、どういう方向性で進んで行くべきなのかを考える大変良い機会です。今後もチームワークの良さで組織の枠を超え、継続的な改善活動が出来るよう取り組んでいきたいと思っております。

機能評価実行委員 (理学療法士) 藤木 憲二 (管理栄養士) 松本 英子

### 学会レポート:第72回日本大腸肛門病学会学術集会(博多)

2017年11月10～11日 福岡国際会議場で第72回日本大腸肛門病学会学術集会(以下、大肛会)が開催されました。大肛会の認定施設である当院からは不肖私がポスター発表させていただきました。

今回の演題は「慢性化膿性汗腺炎の術後創治癒に陰圧閉鎖療法(NPWT)が有用であった1例」で、NPWTという術後創感染や褥瘡治療に大きな改善をもたらした新しい治療法を紹介しました。当院では栄養サポートチーム(NST)の多職種メンバーが栄養状態の改善のみならず褥瘡など傷の治療にも関わっており、皆に手伝ってもらい良いプレゼンテーションが出来たと思います。苦勞して仕上げたポスターは会場で精彩を放ち、多くの医療関係者が足を止めて内容を吟味してくれました。学会に出向き最新の知見を得るだけでなく、今自分たちがしていることを発表し、日本全国で大腸肛門診療に携わっている人たちの評価を受けることは、緊張はありますが大変有意義なことです。



3年前横浜であった大肛会では早期肛門管癌について発表し、その内容を論文にしました。開業医は大学の勤務医と違って学会発表のノルマがありませんので、ついアカデミズム(学問的取り組み)から遠ざかりがちになります。恩師竹馬浩先生(チクバ外科胃腸科肛門科病院会長)は研修医時代の私に「開業医は休診にしてでも学会に行くべし」と教えてくださいました。師匠の姿勢を見習いこれからも少しずつ学会発表や論文作成に楽しんで取り組んでいきます。

その結果、診療内容を向上し、患者様のためになれば私にとってそれに優る幸せはありません。来年あたりヨーロッパ大肛会に進出したいものです。ワクワク。

中谷 紳 (日本大腸肛門病学会指導医)

#### 外来担当医一覧 H30.1.1～

	月	火	水	木	金	土
午前	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨
	中谷 紳	中谷 紳	中谷 紳 (内視鏡)	中谷 紳	中谷 紳	坂田龍彦 第1,3,5
	伊藤雅典	坂田龍彦	坂田龍彦	西 英行	坂田龍彦	西 英行 第2,4
			石川 隆	鈴木健夫 (内視鏡)		杭瀬 崇
午後	伊藤雅典	中谷 紳	坂田龍彦	中谷 紳	坂田龍彦	午後休診

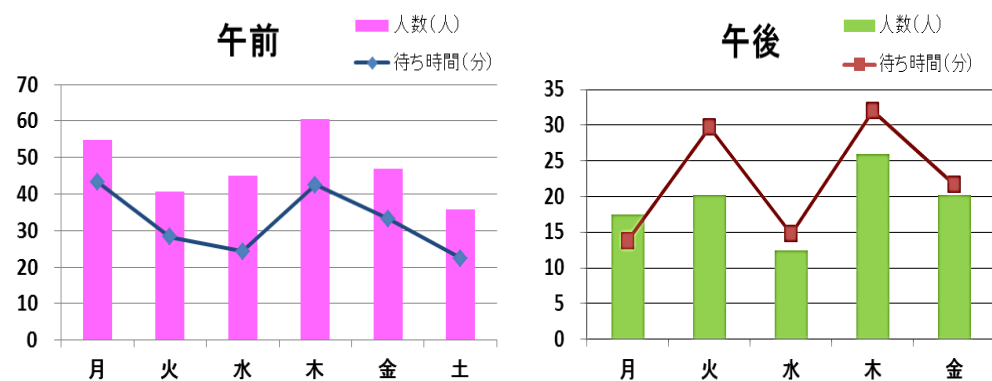
## 医療安全委員会研修会 第4回 【動画で学ぶKYT（危険予知トレーニング）】

日時 : H29.11.29(水)13:30～  
場所 : 5階メバルサロン  
出席者 : 全職員  
講師 : リスクマネージャー 大塚 恵美、藤原 佐千世、齋藤 明美、新田 照美  
目的 : 安心して療養していただける環境を提供できるように職員のセンスを磨いていくため  
内容 : KYT(危険予知トレーニング)  
患者さんのベッド周囲を作成した動画(2例)を元に、グループワークを行い、グループごとに発表。  
①ベッドサイドの足置きマットの設置方法  
②ポータブルトイレ用ペーパーホルダーの設置方法 等



## 外来待ち時間調査

【調査方法】 H29.4～H29.12 4週間分  
電子カルテより受付から診察、リハビリ等初めに行われた行為までの時間を算定(ただし午前は9時から、午後は15時30分から算定)



### 上記結果より

- ・おおむね外来待ち時間は患者数に比例している
- ・午前より午後の方が待ち時間が少ない  
(午前: 20～40分 午後: 10～30分)
- ・木曜日は午前、午後とも患者数と比例して待ち時間が長くなっている。
- ・週の中日である水曜日は午前、午後とも待ち時間が比較的少ないと思われる。

上記結果を受診時の参考にいただければ幸いです。

これからも患者様に気持ちよく受診頂けるよう努力してまいります。

患者サービス向上委員会より

## チャレンジワーク

H29年11月宇野中学校2年の女子生徒さん二人が職場体験の為に当院に来られました。  
その彼女たちへのメッセージです。

### チャレンジワーク 宇野中2年 澄んだ瞳の貴女達へ

あけましておめでとうございます。  
勉学に部活に頑張っているらっしゃいますネ。

『澄んだ瞳 きらきら光る澄んだ瞳  
医療者を目指す貴女達  
忘れないでほしい 覚えておいてほしい  
あのきらきら光る澄んだ瞳で将来を語った  
あの時の自分を  
私達に沢山の元気を届けて下さった  
ありがとう、そして目標めざして頑張れ!!』

中谷外科病院 看護師長 新田 照美

## ♡ 職員旅行 ♡

今年度の職員旅行は、11月11日(土) 18日(土)の2班に分かれて、宝塚観劇、めんたいパーク、キリンビアパークへ。私事ですが、以前から一度は行ってみたいと大いにあこがれていた宝塚。このたびは、新生雪組お披露目公演。

引き込まれるような舞台にラインダンス。背中に大きな羽をつけ、大階段から降りてくるタカラジェンヌ達。色とりどりの華やかな夢の舞台に私たちは魅了されました。

キリンビアパークでディナー。締めは、できたてビールとおしゃれな料理。

心も身体も満腹な1日でした。

(リハビリ部 尾上 真由美)



## クリスマスコンサート



昨年も大好評だったエレクーンコンサート。今年もクリスマスバージョンで大いに盛り上がりしました。40名の参加者による『きよしこのよる』『たき火』の大合唱♪♪ サプライズ企画として院長とのギターセッション。知っている曲が流れると、自然と口ずさんだり、手拍子がおこるなど、各々がいろんな形で楽しまれていました。

藤原恭子先生、とても素敵な時間を作ってください、ありがとうございました。  
(地域医療連携室 山崎 早苗)



クリスマスプレゼント!!  
今年も患者様から、たくさんの笑顔をいただきました♡

## 新人紹介

甘いもの大好き・スポーツ大好き!!



看護師: 織田 有香

やんちゃな男の子2人とその中で育った唯一の女の子の3人の子持ち。大きくなっていく子供たちに親として成長させられる毎日です。家に帰ると子供達の笑顔に癒され、支えられています。

そんな子供達から学び、私も相手のことを第一に考えて仕事し、笑顔の数を増やしていきたいです。

## スタッフのひとり言

新しい年が始まりました。私も昨年末、玉野市から児島に引越し新年を迎えました。8年間玉野市での生活を振り返って、少しさみしいと思う事があります。

私はバス通勤をしていますが、バスの運転手さんとの交流でした。利用客が少ない中、私一人の時もあり、運転手さんと話すことができました。

『今日は台風が来るから、はよ帰ろうな』『おつかれさん』『気をつけな』

かけてくれる言葉、仕事疲れにほっとする一時、慣れない生活の中で大きな励みになりました。人が和む言葉、やさしい気持ちは自分自身の心にゆとりがなければ生まれません。

経験年数だけは長くなりましたが、今後も自分自身を磨き、ゆとりを持って、患者様のお力になればと思います。

看護師: 岩崎 恵美子